



2026 年 6 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社中村超硬

代表者名 代表取締役会長 井上 誠

(コード番号：6166 東証グロース市場)

問合せ先 常務取締役管理本部長 田植 啓之

(TEL. 072-274-0007)

芝浦工業大学との共同研究開始に関するお知らせ

当社の子会社である Zeo Next 株式会社（本社：大阪府堺市、代表取締役：井上誠）は、芝浦工業大学工学部 新井剛研究室と、希薄なレアアースイオンの回収技術に関する共同研究を開始することとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 共同研究開始に至った経緯

近年、EV（電気自動車）市場の拡大に伴い、ネオジム磁石に使用されるレアアースの需要は高まっています。一方で、我が国はレアアース資源の海外への依存度が高く、資源の安定確保及び国内循環システムの構築が重要な課題となっています。

このような背景のもと、Zeo Next 株式会社は、東京大学および大阪公立大学との長年にわたる共同研究を通じて培ってきたナノサイズゼオライト技術を活用し、従来技術では回収が容易ではなかった低濃度レアアースイオンの高効率回収技術の開発に取り組んでおります。

この取り組みをさらに発展させるため、このたび、都市鉱山からの希少金属回収分野において豊富な研究実績を有する芝浦工業大学 工学部 新井剛研究室と、希薄なレアアースイオンの回収技術のさらなる高度化及び実用化を目指した共同研究を開始することといたしました。

2. 共同研究における役割

Zeo Next 株式会社は、芝浦工業大学 新井研究室との共同研究において、分離後の浸出液に残存する希薄なレアアースイオンを対象に、ナノサイズゼオライトを用いたポリッシュ工程、すなわち高度精製・回収プロセスの技術開発に取り組んでまいります。本研究を通じて、レアアース資源の有効利用に資する分離・回収技術の高度化を目指します。

3. 今後の見通し

本共同研究が 2027 年 3 月期の業績に与える影響は軽微であります。

4. レアアースに関するその他の取り組みについて

あわせて、Zeo Next 株式会社は、堺市内において「堺レアアース回収実証センター（仮称）」の設立を計画しております。リサイクル事業者、行政機関、大学・研究機関等との連携を通じて、レアアース資源循環に関する実証拠点の形成を目指してまいります。

本実証センターでは、EVモーターから回収された磁石材料に由来する処理液を対象に、希薄レアアースの回収実証に取り組む予定です。これにより国内における資源循環システムの構築や、レアアースサプライチェーンの強靱化に貢献することを目指します。

以 上